

手舟支部所屬松井鐵工所より五 拾 間

西第二支部より

貳 拾 五 間

西第一支部より

貳 拾 五 間

川口支部より

七 拾 九 拾 錢

鳥屋支部より

貳 拾 五 間

北第一支部より

拾 間

市岡支部より

拾 間

境川支部より

拾 間

櫻島第一支部より

拾 間

中央公會堂演説會々場にて 参 拾 間

失業者大會々場にて

拾 間

合計金貯百拾八圓拾五錢

◆工場委員運動

議が一段落を告けると、次で取扱はれたものは工場委員運動であった。住友製鋼所、汽車會社等に於て機械労働組合員は多數工場委員に選舉された。その内でも汽車會社は同一工場に大阪鐵工組合機械労働組合員を有する爲めに、種々の争ひが起つた。左に掲ぐるは機械労働組合の發表にかかるものである。

汽車會社工場協議會委員選舉に就て

(大阪機械労働組合西支部聯合會發表)

九月十五日に大阪汽車會社工場協議會委員の選舉が行はれた。同社には九百餘名の大關機械労

働組合員あり、九個の支部を有し、西支部聯合會を組織し盛んなる活動を續けて居る。今度の協議會實施に付ても、幹部は月餘に渡つて會社三折衝を重ねた結果、去る八月廿七日實施の發表を見るに至り更に九月二日に選舉細則と共に十五日委員選舉を行ふ事を發表したのである。

同社には右の機械労働組合と共に大關鐵工組合があり、猛烈な選舉戦の行はるゝ事、期付られてゐた。然し會社の干涉か何かは知らぬが、過日行はれた共済會評議會選舉の時には、盛んに各工場も自由に投票しあふ事が出来たのに、今度はそれが許されないので、一トール家は不平満を黙するに忍びず、塚本君をして會社に交渉せしめた結果、當日に限り午前午後の休憩時間中、機械の運転を中止する事、正午の休憩十分間長くする事となつたので、機械の難音に換へて一トール家の熱湯が各工場の棟を廻して、心快く響き渡る。又機械労働組合の一見者諸君!の大きな宣傳ビラが散布せらるゝや、各候補の名刺が飛ぶやら選舉氣分は全工場に満ちて來た。

御川源の連中は上面鳥の様に顔色變へて各所に報られた推薦又は立候補のビラを愛憐の眼で見て廻つて居た。何處でも友愛會が盛んだなーとは庶務課長小川某氏のカクタンの辭だった。道理で開票の結果は、機械労働組合五十七名、鐵工組合二名、無所屬十四名の當選であつた。

最も皮肉なのは、背て鐵工組合の根城であつた製鐵工場の當選者が全部機械労働組合員であつた